

山 紫 海 碧

H30Ver

東 村 立 有 銘 小 学 校

児童数 男11人 女8人 計19人

山紫に海碧く 万古に清き有銘川 ♪

発行 校長 古 謝 治



ヒマワリ 学名 *Helianthus annuus* (キク科)

連日のテレビ等の報道で心を痛めている方も多いと思うが、ここ近年の異常気象は日本だけでなく世界的にみても想定外の異常さに驚かされる。先日の西日本の度が過ぎた集中豪雨は、一瞬にして町を破壊し、多くの尊い人命が犠牲になった。50年に一度とか、観測史上初という表現が例年のことになってきている。復興しようにもここまで破壊されると、どこから手をつけていいかわからない先の見えない不安でいっぱいであろう。亡くなられた方々のご冥福と迅速な支援と復興を願うばかりである。

連日の猛暑についても然り！ 太平洋高気圧という鍋にチベット高気圧という蓋が覆い被さっている状況下にある西日本。

異常すぎる酷暑に日本が亜熱帯化しているとか考えられない。この先、地球はどうなっていくのだろうか？

幸い、沖縄は南国とは言え、亜熱帯海洋性気候のため35℃を超えることはそうそうないが、明日からの夏休み。熱中症にかかることがないように十分気をつけてほしい。

写真は、学校近くの東系列導水路トンネル横杭工事現場事務所入口のヒマワリ。キク科の一年草で、「日回り」と書かれることもあり、また、ニチリンソウ（日輪草）と呼ばれることもある。大きな一つの花のように見えるが頭状花序と呼ばれ、多数の花が集まって一つの花の形を作っている。和名の由来は、太陽の動きにつれてその方向を追うように花が回ると言われたことから。ただしこの動きは生長に伴うものであるため、実際に太陽を追って動くのは生長が盛んな若い時期だけである。完全に開いた花は基本的に東を向いたままほとんど動かない。

元気！ポジティブ！元気で明るいイメージの夏の代表花ヒマワリ。これからさらに熱中症が心配される夏本番が到来するが、太陽に負けない元気な有銘っ子で明日からの夏休みを過ごしてほしい。

一学期を終えて ～ ご理解・ご協力に感謝 ～

台風7号襲来による臨時休校がありましたが、一学期70日間、児童に大きな事故もなく、無事終了することができました。それは、何よりも子どもたち一人一人が毎日の授業・学校生活を楽しく意欲的にがんばってきたからです。

また、PTAのみなさまや地域の方々、村教育委員会等々、多くのみなさまの日頃からのご協力のおかげと心からお礼申し上げます。学級や学校へのご協力、色々な場面でご協力頂きましたことに心から感謝申し上げます。

在籍児童数が19人とただでさえ寂しい中、なかなか学校に足を運ぶことができずに不登校や不登校気味の児童が数名いますが、登校支援が結果として表れていないことに無力感を感じています。

いよいよ夏休みに入ります。熱中症や交通事故、海や川での水難事故にはくれぐれも十分注意し、また、体調不良等がなく、子どもたちにとって安全で有意義な長期休暇になることを祈っています。

二学期は少ないながらも19人全員の元気な子どもたちの声が学校に響き渡りますように！

児童交流の翼 八幡受入 歓迎会

7月28日(土)は本校体育館で歓迎会がありますので登校日になります。

集合：午前8時迄に登校させてください。

歓迎会：08:40～09:40

*6年生以外は、片付け終了後の10時頃下校となります。

今年度の受入校は、有銘校です。最大限のおもてなしで、八幡の子どもたちにたくさんのいい思い出をつくってあげましょう！

地域の子は地域で守り育てる ～青少年健全育成共同アピール～

本県の子どもたちの明るさ、素直さ、思いやり等は、素晴らしい資質であり、大切な沖縄の宝であります。

また長い夏休みは、本県の子どもたちが様々な活動や体験などをとおして、一人一人の良さを伸ばし、自己の中にある新しい資質や能力を見つけ出す絶好の機会です。

しかし、長い夏休みの中で、いつしか生活リズムを乱し、非行や犯罪、事件や事故に巻き込まれる子どもも少なくありません。

沖縄県社会教育関係団体等連絡会14団体は、長年にわたって培ってきた人材と組織力を活かし、「地域の子は地域で守り育てる」を合い言葉に、「愛の一声」運動や「家～なれ～」運動などを地域や学校と連携・協働して推進し、県民総ぐるみで青少年健全育成が図られるよう、次のことをアピールします。

私たちは、

1. 基本的生活習慣の確立のため、
子どもたちの生活リズム
2. 交通事故・水難事故防止のため、
子どもたちの外での遊び
3. 薬物乱用・飲酒・喫煙の防止のため、
子どもたちの心と体
4. ネット被害・ネット依存の防止のため、
子どもたちのケータイ・スマホの利用
5. 地域の絆づくりのため、
子どもたちの地域行事への参加
6. 子どもたちの夢実現のため、
子どもたちの日々の努力

を気につけ、目をつけ、声かけます！

最大限の注意を！

猛暑が続く17日、愛知県豊田市で、小学1年男児が校外学習から戻った教室で意識を失い、熱射病のため病院で死亡した痛ましいニュースはご存じかと思います。担任が付き添い、その都度水分補給もしながらの1時間半程度の校外学習で、その日の気温は30℃を少し超えるくらいだったとか。夏の沖縄でも普通にあり得る気温ですね。子どもに限らず、我々大人も熱中症を甘く考えず、時間や場所を考えて行動しましょう。